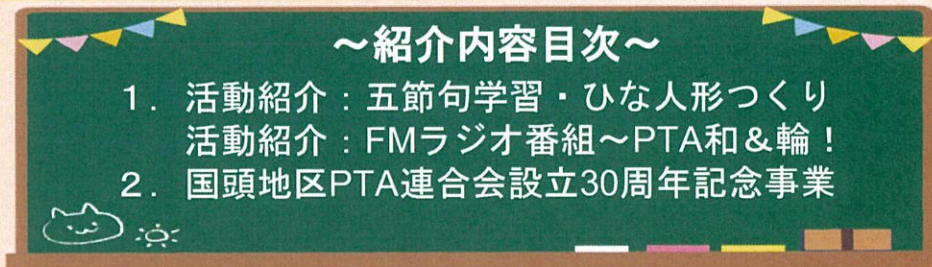


各地区世帯数
 国頭 10,306
 中頭 43,372
 那覇 33,394
 島尻 24,635
 宮古 4,597
 八重山 5,089



PTA新聞おきなわ 第496号
 《発行》
 (一社) 沖縄県PTA連合会
 〒900-0002 那覇市曙2-26-27
 TEL (098) 867-3582
 FAX (098) 867-0309
 責任者 岸本洋平
 企画・編集 広報委員会

PTA活動も活発に...(^^)
コトハ禍明け多忙化してく中で!
 ご節句学習・ひな人形づくり



2月29日(木) 港川中学校で文化教養部主催のひな祭りにちなんだ学習会が開催されました。生徒の部、保護者の部に分かれたこの学習会には、講師として「暮らしの中の作法教室」主宰の高宮城ヨシ子先生をお招きし、浦添市更生保護女性会の皆さんもアシスタントとして参加してくださいました。折り紙から美しいひな人形ができました。終了後は抹茶とお菓子を頂いたり、五節句のお話を聞かせて頂いたり楽しいひと時となりました。

多様化してくPTA活動!



子ども達の笑顔への思い...
 地域ならではの和&輪で(^^)

2024.4.1~FMコザでの生放送無事終了! パーソナリティの島袋さん(沖縄市PTA連合会副会長)の進行がとても上手であったという間の55分でした。最初は荒木(那覇地区)、与那嶺(中頭)、仲村(国頭)の3名でしたがリモートで安里(島尻)も合流し、普段の楽しい広報委員会の様子もお届けする事が出来ました。各メンバーが楽しく子どもたちの様子やPTAが子どもたちの学びの様子を伝えたくて、気付いたら広報を長年やってきたと言う思いがヒシヒシと伝わってきました。沖縄市PTA連合会さま、貴重な機会を与えてくださり本当にありがとうございました😊 これまでの動画も興味深く皆さんも聞いてみてはいかがでしょうか!



国頭地区PTA連合会 設立30周年式典・祝賀会

八重山・宮古・島尻・那覇・中頭
国頭5地区のうち今年度行われた
記念事業のひとつをご紹介します！

準備委員会の様子・北部会館(名護市)



今年度行われた記念事業のひとつ国頭地区PTA連合会設立30周年記念式典・祝賀会！
実行委員長の具志堅勉さんを筆頭に、企画から準備まで事務局や現役のPTAの皆さん及び
OB、OGの方々と力を合わせて無事に大成功で終える事ができました。
平成5年度1993年から令和5年度2023年までの歴代会長がお揃いで乾杯！国頭地区PTA連合
会設立30周年記念事業 実行委員会ご尽力くださいました皆様心から感謝申し上げます。
また、他地区・単Pでも周年式典等行われたという皆様もお疲れ様でした！

～次頁記事紹介～

- 4. 活動紹介：御礼！
コロナ多種連絡会
- 5. 編集後記！





コロナ多職種連絡会ありがとうございました！～つながって乗り越えたあの日あの時～



コロナ禍の2021年から2023年にかけて毎週木曜日に医療、介護、マスコミ、教育、観光など様々な分野の関係者による非公式での情報交換会が開催されてきました。

毎回、中部病院の高山医師が座長となり、コロナ感染状況の報告やコロナ禍の各分野での取り組み、課題の共有と連携、アフターコロナに向けた取り組みについての意見交換が行われておりました。

022年4月から2023年4月の約1年間は広報委員長として毎週出席しました。時には伊禮会長(当時)や奥間副会長(当時)にも参加頂きながらPTAとして学校行事、部活動等が制限される事による子どもたちの学びへの悪影響や制限下での活動方法の提言などを実施してきました。

2023年の5類指定に先立ち、2023年4月21日沖縄県医師会館にて116回目にして初めて公開形式での多職種連絡会が開催され、様々な分野での3年間の取り組みについて報告が行われました。沖縄県PTA連合会からは宮里副会長(当時)から天久小学校での取り組み等について話して頂きました。

1年間を通し各分野の状況を三役に共有し、時には広報紙の記事でコロナ禍での活動のための情報提供などを行いました。

県内の様々な分野の専門家の方々が、県民の命と生活を守るために全力で取り組んでいる様子を知ることが出来ました。この場を借りて改めて関係者の皆様に対し、敬意と感謝の意を表させていただきます。

(令和4～5年度沖縄県PTA連合会広報委員長 荒木正隆)

今だから言える
～コロナ禍の多職種との連携～



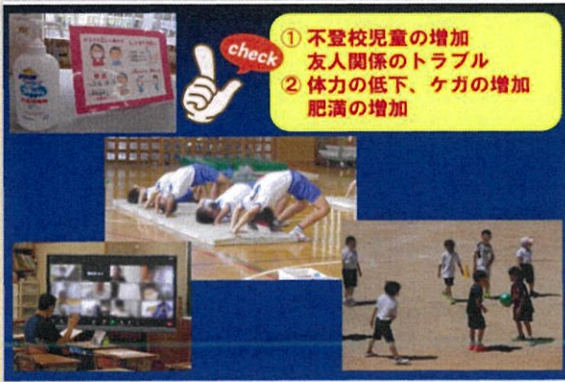


第116回新型コロナウイルス感染症
多職種連絡会
日時:令和5年4月21日(金)19:00
場所:3階ホール



パンデミックが
子どもたちに与えた影響

沖縄県PTA連合会副会長 奥間 千賀子



- ① 不登校児童の増加
友人関係のトラブル
- ② 体力の低下、ケガの増加
肥満の増加

コロナ禍で
生えてきた
課題

- ・生活に大きな影響があった人とそうでない人
- ・非常時は社会の弱いところが顕在化する
- ・コミュニティ・つながりの重要性を再確認
- ・つながりの中には、誰がいて誰がいないのか想像力を持って取り組む必要性
- ・不寛容な社会のありようが明らかに
- ・伝統行事・地域活動の停滞による地域力の低下

宮里副会長・天久小校長（当時）による 報告内容（概要）

1 健康観察・黙食

- ① 登校時の検温と健康観察シートのチェック
→ 教室で担任が確認(本人の体調のみ)
自分の体調を管理する意識が高くなった
- ② 学校PCR対応
→ 個人で接触者PCRセンターへ申込み
家庭での感染症対策の意識が高くなった
- ③ 給食の配膳・黙食
→ 消毒、配膳、マイエプロン、
食べ終わったらおしゃべりタイム
4月からはグループで食事も可能に

2 学校行事

- ① 授業参観、運動会、音楽発表会
→ 分散型、人数制限、オンライン
短時間でも対面型で行う工夫

3 授業の様子

- ① ICTを活用した授業の充実
- ② グループ活動、体験的な活動など
個別最適な学びと、協働的な学び
- ③ 音楽科、家庭科、
体育科の授業
→ 感染症対策を行いながら実施

4 その他

- ① 不登校児童の増加
- ② 友人関係のトラブル
- ③ 体力の低下、ケガの増加
- ④ 肥満の増加

「マスクを外したくない」
「学校で学ぶ意義がわからない」などの、
子どもたちの不安を取り除くために、
学校は子どもたちの安心できる居場所
として、自己存在感が高まり魅力ある
場所にしていきたい。

編集後記

3年間県PTA連合会の広報委員をさせて頂きました。
長年、小中学校および市P連の広報を勤めてきましたが、県での広報活動の
役割を考えるとところからのスタートでした。
最初の年はコロナ禍の真っ最中で生活での制限も多く、打ち合わせもzoomの
みでの活動となりました。2年目からは活動を再開した各地区、各学校の取
り組みを紹介するためにSNSも立ち上げたり、ラジオ出演したりと色々と新
しい取り組みも行いました。
広報紙コンクールの審査では、各校の広報のみなさんが知恵を絞って制作さ
れた多くの広報紙を読み大変勉強になりました。
あっという間の3年間でした。各地区から参加した広報委員と一緒に
楽しく活動出来たことに感謝します。ありがとうございました。



令和3～5年度 広報委員 荒木正隆